

# PHP コードを隔離された環境で 安全に動かす (on WebAssembly)

nsfisis (いまむら)

第 157 回 PHP 勉強会@東京

# 自己紹介

---

nsfisis (いまむら)



@ デジタルサーカス株式会社

# 任意コードを安全に実行したい

---

任意の (危険かもしれない) コードを実行したい

# 任意コードを安全に実行したい

---

任意の (危険かもしれない) コードを実行したい

WebAssembly による隔離

# WebAssembly とは

---

ポータブルな仮想マシンのコード (別名 Wasm)

元々はブラウザにおける処理の高速化を目的として制定されたが、さまざまなプラットフォームに活躍の場を広げつつある

プラットフォームに依存しない、言語に依存しない、外から隔離された実行環境

# 先行研究

---

PHP の処理系を WebAssembly にコンパイル

PHPerKaigi 2023: 「PHP をブラウザで動かす技術」

Zenn: 「WebAssembly を使った PHP のリアルタイム Playground を作りました。」

WordPress Playground

# WebAssembly にビルドする

---

C 言語でエントリポイントを書く

```
#include <emscripten.h>
#include <Zend/zend_execute.h>

int EMSCRIPTEN_KEEPALIVE php_wasm_run(const char* code) {
    zend_result result =
        zend_eval_string_ex(code, NULL, "php.wasm code", 1);
    return result == SUCCESS ? 0 : 1;
}
```

# Emscripten

---

C 等から WebAssembly へのコンパイルに使用するツールチェーン

LLVM を利用し、C や C++ などから WebAssembly のコードを生成する



# WebAssembly にビルドする

---

```
$ ./buildconf  
$ ./configure  
$ make
```

PHP の通常のビルド手順

# WebAssembly にビルドする

---

```
$ ./buildconf  
$ emconfigure ./configure  
$ emmake make
```

configure の代わりに emconfigure

make の代わりに emmake

# ビルドを楽にするために

---

```
$ emconfigure configure \  
  --disable-all \  
  --disable-mbregex \  
  --disable-fiber-asm \  
  --disable-cli \  
  --disable-cgi \  
  --disable-phpdbg \  
  --without-iconv \  
  --without-libxml \  
  --without-pcre-jit \  
  --without-pdo-sqlite \  
  --without-sqlite3
```

なるべく disable/without して、ビルド対象を減らす

# ビルドを楽にするために

---

```
$ EMCC_CFLAGS=' -s ERROR_ON_UNDEFINED_SYMBOLS=0 ' \  
  emmake make
```

ERROR\_ON\_UNDEFINED\_SYMBOLS を 0 にして、未定義のシンボルがあってもエラーにならないように

# WebAssembly にビルドする

---

```
$ emcc \  
  -s ERROR_ON_UNDEFINED_SYMBOLS=0 \  
  -s ENVIRONMENT=node \  
  -s INITIAL_MEMORY=16777216 \  
  -s EXPORT_ES6=1 \  
  -s INVOKE_RUN=0 \  
  -s MODULARIZE=1 \  
  -o php-wasm.js \  
  php-wasm.o libphp.a
```

ENVIRONMENT で動かす環境を指定、INITIAL\_MEMORY で確保するメモリを指定、等  
php-wasm.wasm と php-wasm.js が生成される

# 使ってみる

---

```
import PHPWasm from './php-wasm.js'

const { ccall } = await PHPWasm();
const result = ccall(
  'php_wasm_run',
  'number', ['string'],
  [`echo "Hello, World!";`],
);
console.log(`exit code: ${result}`);
```

ccall に、関数名、返り値の型、仮引数の型、実引数を渡して呼び出す

# まとめ

---

- Emscripten を使って、PHP の処理系を WebAssembly にコンパイルできる
- WebAssembly を使って、環境を隔離できる
- Git リポジトリ : <https://github.com/nsfisis/tiny-php.wasm>
  - Docker があれば構築可能